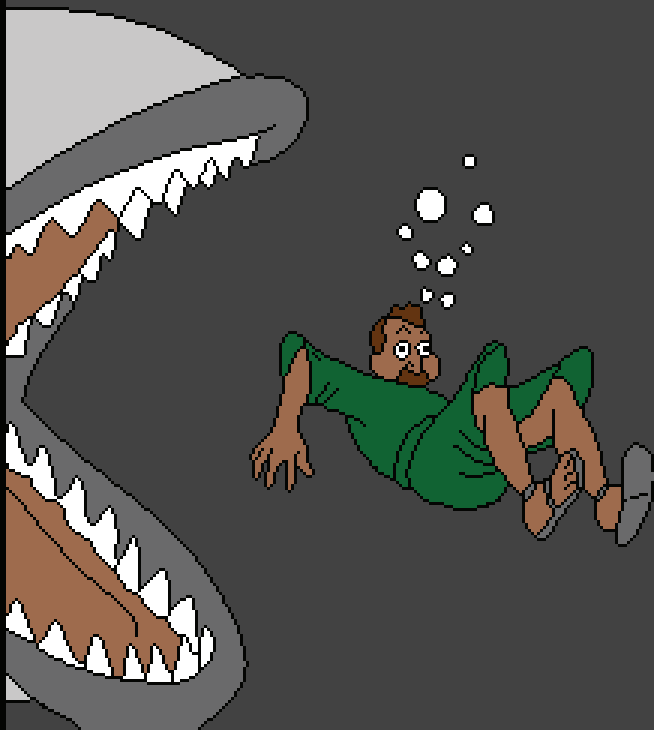


こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします

おお さかな
ヨナと大きな魚



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



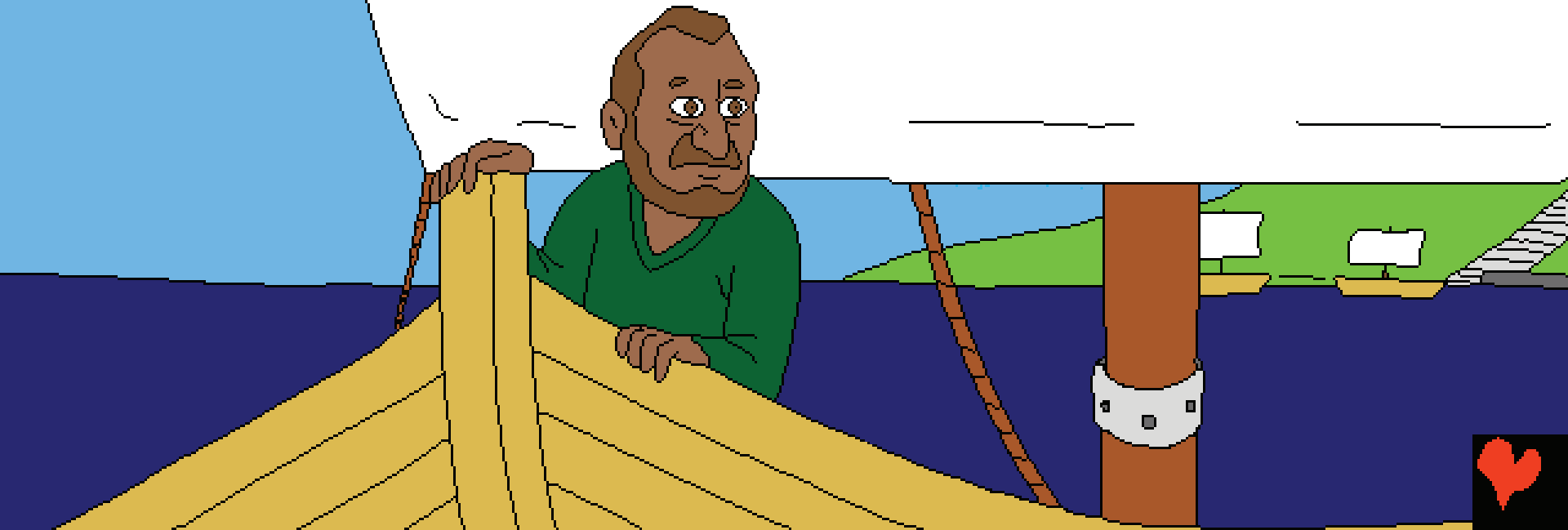
むかし ずっと昔、イスラエルにヨナという名まえの男の人が
す 住んでいました。ある日、神さまが言われました。「ヨナ、
ひ かみ い ニネベへ行きなさい。」ニネベというところは、
せかいじゅう おお そのころ世界中でいちばん大きくて、
まち つよい町でした。



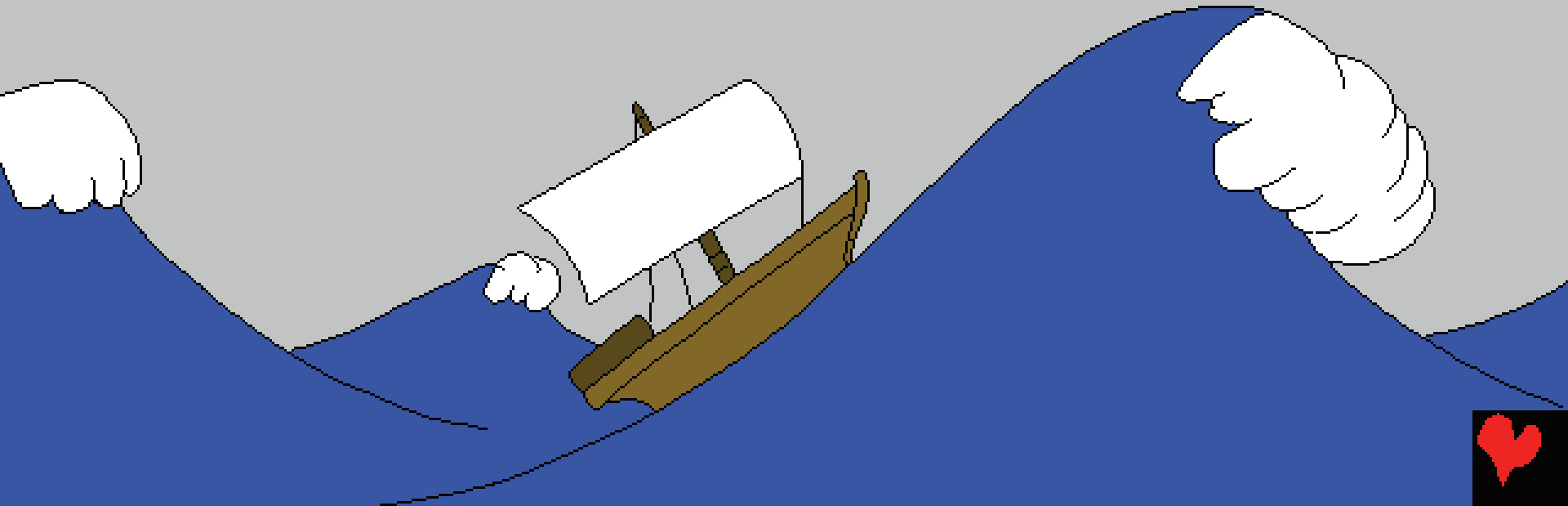
でもそこに住んでいた人は、悪いことばかりしていたの
です。そこで、神さまはヨナに、「ニネベの人々がどん
なに悪いことをしているか、ちゃんとわかっている
のですよ。」と、みんなに伝えに行くようにめいれいされたのです。



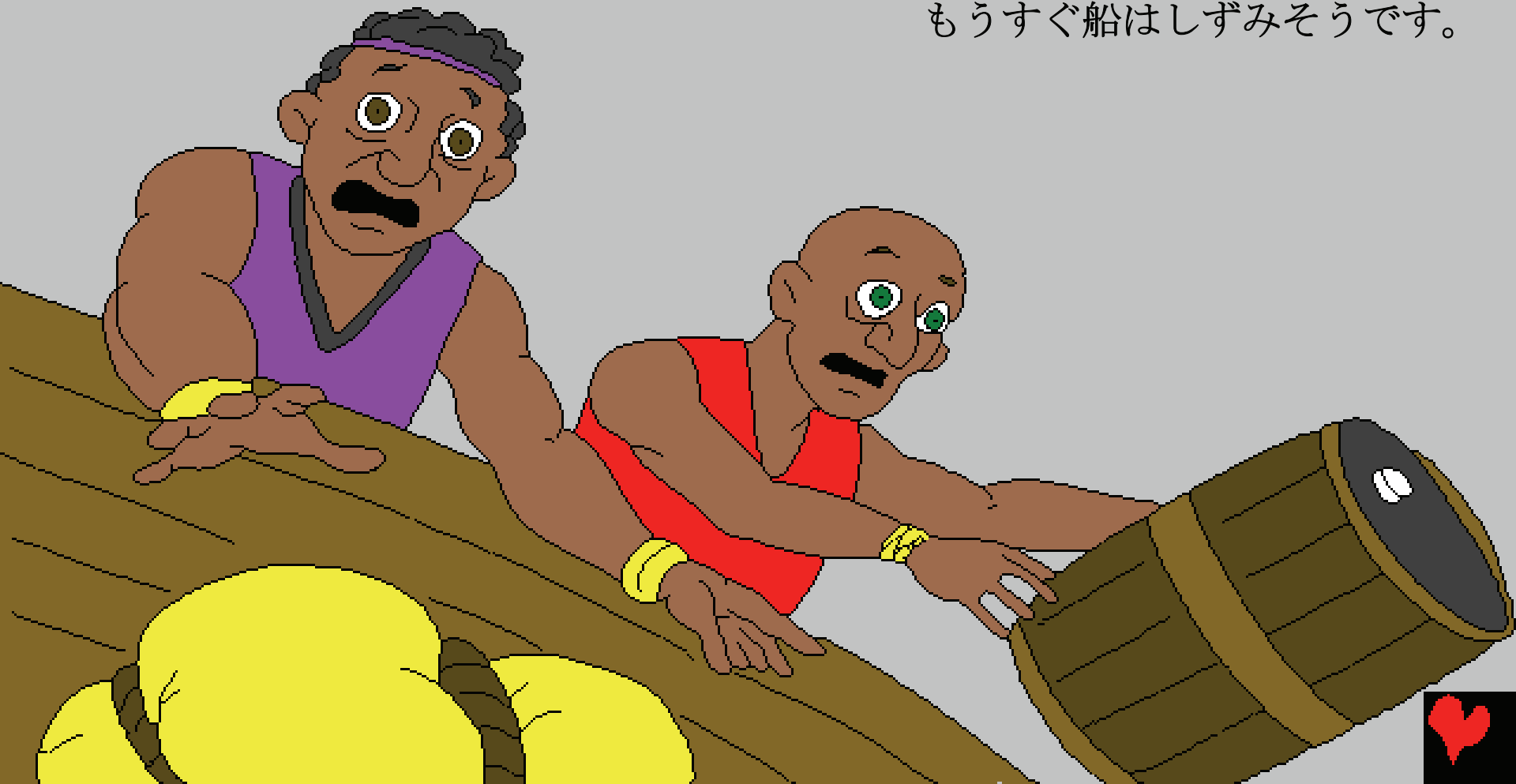
ところが、ヨナは神さまのおっしゃるとおりにな
かったのです。ニネベへ行くかわりに、船にのって
反対の方、タルシシュにむかいました。



そこで主なる神さまは、海につよいつよい風を送られました。さあ、たいへん！
ひどいあらしです。ざぶーん、ざぶーんと大きな波が 船におおいかぶさってきます。
「ああ、どうしよう！船がバラバラになってしまう！」船のりたちは、さげびました。



あらしは、だんだんひどくなっていきます。船ふなのりたちは、
おそろしくてたまりません。「神かみさま、どうか助たすけてください。」
って祈いのりました。船ふねをかるくしようと、荷もつをみんな海うみになげこみました。
けれども、あらしはますますひどくなり、
もうすぐ船ふねはしずみそうです。



あれっ、ひとりだけ祈っていない人がいますよ。その人は、ヨナです。

ヨナは祈るかわりに、船のそこでグーグーねむっているようです。船長が、ヨナをみつけました。「こんなところで、あなたはなにをしているのですか。

いまごろ眠っているなんて！ さあ、すぐ起きて祈ってください！ 神さまは、もしかしたらわたしたちのことを、

助けてくださるかもしれないのです。」



ふな
船のりたちは、ヨナを海になげこみ
うみ
たくありません。そこで、みんなは
ふね
いっしょうけんめい船をこぎまし
た。「さあ、船をこいで岸まで
ふね きし
いくんだ。」けれども、こいで
きし
もこいでも岸までたどりつき
ません。さて、どうすれば
たす
いいのでしょうか。助か
るほうほうは、ただひ
とつしかありませんね。



かみ
「神さま、どうぞおゆるしてください。」
ふな
船のりたちは、
いの
こう祈ってから
あ
ヨナをもち上げ、
うみ なか
海の中になげこみ
おお
ました。ヨナが大
なみ なか
きな波の中にきえ
てしまったとたん、どうでしょう。
うみ かぜ
海はとたんにしずかになり、風は
ふな
やんでしまいました。船のりたちは、
か てんき み
このとつぜん変わった天気を見て
すっかりこわくなってしまいました。



「なぜ、とつぜんあらしがやんでしまったのだろう。」それは、
ひどいあらしよりも、もっともとおそろしいこと

おも

のように思えました。

ふな船のりたちは、いま今はっきりとわかった
でしょう。このよう
なことがおできになる

かみ

のは、神さましかいらっしやら
ないって。かれらは、このふしぎな

こころ

できごとに心からおどろいて、

かみ

れいはい

神さまをおそれながら礼拝しました。



かみ

さて、神さまのいうとおりにした
がわなかったヨナは、とつぜん

うみ

海になげこまれ、ほんとうに
びっくりしたことでしょう。

うみ なか

ヨナは、ふかい海の中へしずん
でいきましたよ。でも、どうす
ることもできません。ヨナは、

じぶん

し

自分がおぼれて死んでしまうだ

おも

ろうって思いました。

かみ

でもね、神さまはヨナに、

けいかく

ほかのことを計画され
ていたのです。



しゆ おお おお さかな ようい
主は、ヨナをのみこむような大きい大きい魚を 用意さ

れていたのです。その魚はね、ちょうどそのとき、その
ふね した

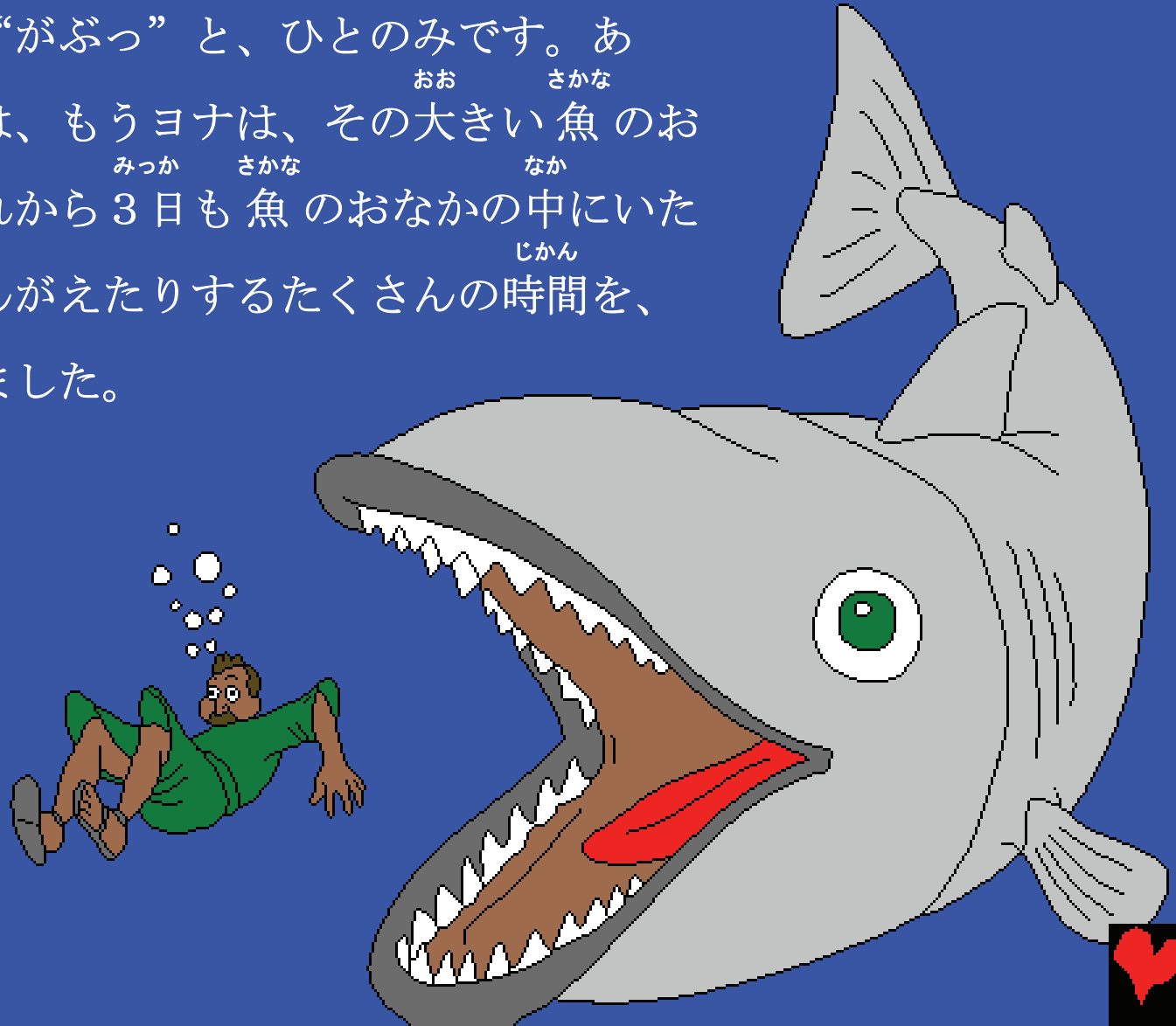
船の下にいました。“がぶっ”と、ひとのみです。あ

れっと思ったときには、もうヨナは、その大きい魚のお

なかの中ですよ。それから3日も魚のおなかの中にいた

ヨナは、祈ったりかんがえたりするたくさんの時間を、

かみ
神さまからいただきました。



みっかめ

かみ

い

ちょうど3日目です。「これからは神さまの言われるとおりにしよう！」と、

こころ

かみ

さかな

ヨナは、やっと心にきめました。するとどうでしょう。神さまは、すぐに魚

い

なか

すな

は

に言われました。「さあ、おなかの中のものを、砂はまに吐きださない。」

すな

そして、ヨナは砂はまにうちあげられたのです。



かみ
神さまはヨナにまた、前とおなじことを言われました。「ヨナ、ニネベ
の町へ行き、わたしのことばを伝えなさい。」
ま い
この頃は、ヨナはどうし
つた
たでしょう。もちろん、すぐに行きました。「40日のうちに、
い
この町はなくなってしまうだろう。」
まち
と伝えましたよ。
つた



ひとびと かみ ニネベの人々は、神さまのことばをしんじました。ひとびと た 人々は、食べることをやめて、
ぬの き かみ あらい布のふくを着て、神さまにあやまりました。「神さま、ごめんなさい。
かみ わる おう おう おう
わたしたちは、神さまにしたがわないで悪いことばかりしていました。」王
かみ さ おう おう たか
さまも神さまに、あたまを下げました。王さまは、王さまだけがすわれる高い
くらい ぬの き はい なか
位のイスからおりて、あらい布のふくを着て、灰の中にすわりました。それから、
みんなにめいれいしました。「さあ、

わる
みんな、もう悪いことはやめるんだ。
あらそ しゅ
争ってはいけない。そして主に
いの
ゆるしてくださいって祈るんだ。」



かみ

神さまは、ほんとうにみんなをゆるしてくださったのですよ！なんてうれしいこ

かみ

し

とでしょう。神さまがゆるしてくださったと知ったニネベの

ひとひと

おお

人々は、大よろこび。・・・でもね、

ひとりだけおこって

ひと

いる人がいますよ。

その人はだれ？ヨナ

だったのです。



どうして、ヨナはおこっているのでしょうか。

ヨナは、^{かみ}神さまに言いました。「^{かみ}神さま、わたしは^{かみ}神さまが、
^{いか}めぐみぶかく、^{いか}なさけぶかく、^{いか}すぐに怒られることはなく、
^{かた}しんせつでやさしい方^しということを知っております。」
^{わる}つまりね、ヨナはわたしたちが悪いことをしても、
^{かみ}「神さま、ごめんなさい。」



い かみ
と 言 っ て、 神 さ ま の こ と ば に し た が う よ う に な れ ば、
かみ 神 さ ま は い つ も ゆ る し て く だ さ る こ と を、 し 知 っ て い た の で す。 で も、
ヨ ナ は き っ と ニ ネ ベ の 人 々 が ひとびと 好 き す じ ゃ な か っ た の で し ょ う ね。
だ か ら、

かみ 神 さ ま が ひとびと ニ ネ ベ の 人 々 を す ぐ に ゆ る さ れ る の は、
い や だ っ た の で す。



ヨナは、神さまにととてもおこって、こう言いました。 「神さま、
わたしの命を、さっさと取ってしまってください。
生きているより、死んだほうがましです。」



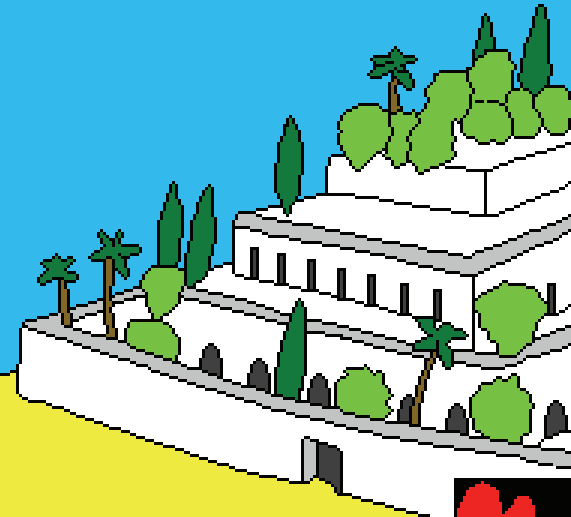
それから、ヨナは町の外に出ていき、つぎに神さまが、いったい自分に何をな
さるのだろうとおも思っていました。主なる神さまはね、大きなはっばのついた木
を用意よういされましたよ。その木はあつというまに大きくなり、その木かげが、ヨ
ナをあつひいお日さまの光ひかりから一日中まもっていちにちじゅうくれました。



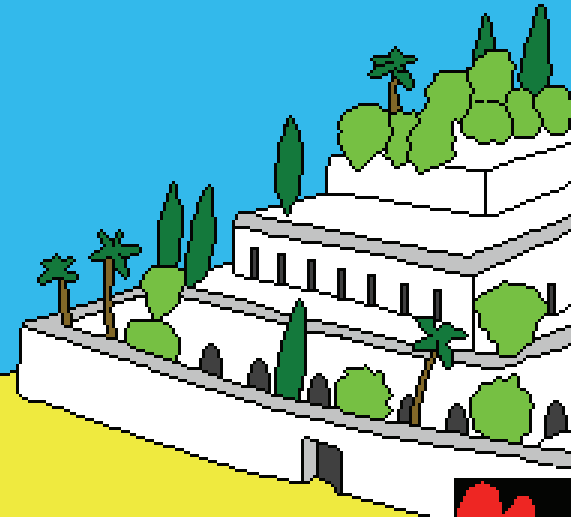
ところが、つぎの目のあさです。神さまは、木に1ぴきの虫をつかせました。
あれっ、クネクネうごいていますよ。うじ虫それともいも虫？その虫はね、
あっという間にはっぱを食べつくしてしまい、その木はかれてしまったのです。
それから主は、あつくてつよいつよい風をおくられました。
ヨナは死んでしまうと思うほどでした。それでヨナは、
ますます神さまに、おこりました。



そこで神さまは、ヨナに言われましたよ。「ヨナ、おまえが
わたしにおこっているのは、正しいことなのか。おまえは
とうごまの木が死んでしまい、かわいそうだと思っ
たことだろう。だが、よくかんがえてごらん、
その木は、おまえがはたらいて育てた
わけじゃないんだよ。



その木は、ひとばんで大きくなり、ひとばんで死んでしま
った。それじゃ、どうしてわたしが、ニネベの人々をか
わいそうと思っおもてはいけないのか。どうしてって、
そのすばらしい町ニネベには、何千人なんぜんにんもの人ひとが
すんでいるんだよ、ヨナ。」



おお さかな
ヨナと大きな魚

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ
ヨナ書

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていてらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくい、は、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをととても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
いのち ところ い
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

